



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2011 **3**



2月21日(月) コープこうべ協同学苑にて、兵庫JCC主催による「協同組合研究・交流会」が開催されました。(関連記事P.5)

時は待たない、

ハンセン病療養所への

訪問を重ね、

交流を深めよう

私は24年前、『兵協連だより』第199号（1987.6.5）の「想点」に、その年の正月二日に訪れたハンセン病国立療養所「長島愛生園」の印象を記した。

長島愛生園は、岡山県の邑久郡邑久町（現在の瀬戸内市邑久町）に浮かぶ長島にあり、当時は橋がまだ架かっておらずフェリーで行った。しかし、その年に7回も島に通うことになるとは思ってもいなかった。以来、今日まで重訪すること40回は下らない。その後、全国のハンセン病療養所から台湾、韓国の療養所へも足を伸ばした。特に韓国には発足してまだ日の浅い、同国の医療生協への友好訪問を兼ねてのことだった。

1987年の記は「忘れ去られようとしている多くの者の中にこそ、一人でも多くの者が集い伝えていかなければならない歴史がある」と結んでいるが、この情緒的な文章は、その後のハンセン病を取り巻く劇的とも言える変化に連動しようとする兆しさえ見せていない。私（たち）が能動的に何をなすべきかを明らかにしない自己満足的なものであった。私はそのことにずっと忸怩たる思いを持っていた。

※重訪…同じ場所を重ね重ね訪問すること。

“人間回復の橋”は架かったが

ハンセン病患者を終生隔離する法

CONTENTS

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 2. 想点 4. 理事会報告・2011年度行事予定 5. 大規模災害対策図上演習 開催報告 6. 初級経理学校／税務・経理講習会 開催報告 7. 兵庫JCC「協同組合研究・交流会」開催報告 8. 単協通信（コープこうべ／生活クラブ都市生活） | <ul style="list-style-type: none"> 9. 単協通信（神戸医療生協／尼崎医療生協） 10. 協同組合のかけ橋 11. 兵庫県のページ 12. 第1回 賀川デーのご案内／
通信員・広報担当者研修会のご案内／県連日誌／
編集後記 |
|---|--|



阪神医療生活協同組合

理事長 **中村 大蔵**
(なかむら・だいぞう)

的根拠となった「らい予防法」の廃止は、〃人間回復の橋〃架橋から8年も後であり、同法が憲法違反であるとの画期的判決が下されたのは、さらに5年後のことだった。架橋から実に13年後だった。その間に多くの元病者とその家族がこの世を去った。

国のハンセン病対策が憲法違反だと明らかにされたにもかかわらず、判決の翌々年には、温泉地のホテルが療養所入所者の宿泊を拒否するという事態があり、ハンセン病及び元病者に対する根深い差別意識が惹起された。

あろうことか、声を上げた市民はホテルへの非難よりも療養所に生活する人たちに集中した。

入所者への夥しい非難中傷のがき、手紙の数々の中から一部を紹介しよう。

「あんたらしい加減にしなさい」と赤字で書き、「気持ち悪いのは事実ですよ。一緒に温泉に入りたいくないですよ」。「お前たちが温泉に行こうなんて、人間と同じ行動

をとるからホテルに迷惑かけやがったんだ」。「二度と人間のまねしてホテルへ行こうなどと思うな。お前たちの行くところはあの世だけ」。(原文のママ)

私は2004年2月、凍てつく療養所の一室でこれらのはがき、手紙を書き写していた。あまりにも酷さゆえ反吐が出そうになった。はがきや手紙を書き、切手を貼り投函することは簡単な作業ではない、明確な意思と労力が必要。そこまでしての行為は、自己の劣情を満足させることではない。

私はこれらのはがきや手紙を読みながら、『兵協連だより』第199号の続編をぜひ書かねばならないと思った。ただ「伝えていかなければならない」だけではないのだろうか。

急速に進む入所生活者の高齢化と減少

私が初めて長島に上陸した時、愛生園には887人の入所者が住んでいた。平均年齢は67歳だった。

今年2月21日現在で320人、82歳となった。特別養護老人ホームに匹敵する年齢である。

全国の国立13・私立2療養所でも1987年の入所者は7,143人だったが、昨年5月1日現在で2,427人になった。平均年齢も81歳。わが国ではハンセン病の新規発病はもはやない。療養所の高齢化は急速に進み、入所者は激減している。時は待たない。

現在、療養所の将来構想を官民あげて検討中だとはいえ、長い隔離政策ゆえなかなか妙案が浮かばない。徒に時は過ぎていく。今、私が努力していることは一人でも多くの「初心者」を療養所に同伴し、入所生活者との交流を重ねることである。



2010年度 兵庫県生協連 第4回理事会報告

I. 開催日時 2011年2月7日（月）午後2時～3時57分

II. 開催会場 兵庫県民会館 12階「1201」

III. 出席者

浅田会長理事、寺尾副会長理事、大西専務理事、
板崎、古河、山田、山岸、木村、高橋、福島、竹中（以上、理事）
本上、金丸、秦（以上、監事）

<報告事項>

- (1) 「会員生協の概況報告」について、各出席理事・監事より報告
- (2) 前回理事会から2月上旬までの兵協連諸行事・諸活動報告
- (3) 2010年度兵協連研修実施報告と計画（案）
 - ・第3回兵協連大規模災害図上演習「ぼうさい塾・わがまち減災シミュレーション」
 - ・ひょうご消費者セミナー2010
- (4) 兵協連第4回生協対策資金貸付審査会開催報告
- (5) 当日資料の説明
 - ・兵庫県主催「がん検診推進フォーラム」
 - ・ひょうご消費者ネット第7回シンポジウム
 - ・第1回賀川デー

- <協議事項1> 兵協連2011年度第61回通常総会に向けての手順とスケジュール（案）について
 <協議事項2> 兵協連2011年度活動計画ラフ（案）について
 <協議事項3> 兵協連2010年度決算見通しと2011年度予算ラフ（案）について
 <協議事項4> 定款・規約の改定についての考え方について
 <協議事項5> 2011年度兵協連会費基準と算定の考え方について
 <協議事項6> ひまわり医療生協の兵協連加入について
 <協議事項7> 労働金庫よりのつなぎ融資について

2011年度行事予定表（主要行事）

※日程は変更になる場合があります。

開催日	兵協連・日生協主要行事／研修
2011年	
4月4日（月）	兵協連第5回理事会
4月6日（水）	日本生協連2011年度関西地区・総会議案検討会議
4月13日（水）	関西地連運営委員会
5月26日（木）	兵協連 監事会・監査
6月6日（月）	兵協連第6回理事会
6月17日（金）	日本生協連第61回通常総会
6月22日（水）	兵協連第61回通常総会・臨時理事会
7月1日（金）	第89回国際協同組合デー・兵庫県記念大会
7月14日（木）	日本生協連 全国県連責任者会議
7月28日（木）	関西地連 運営委員会
8月1日（月）	兵協連第1回理事会
8月4日（木）	8日（月） 日本生協連ピースアーク ショーンヒロシマ・ナガサキ
9月29日（木）	関西地連 運営委員会
10月3日（月）	兵協連第2回理事会
10月12日（水）	2011年兵庫県生協大会
10月27日（木）	兵協連 監事会・監査
10月30日（日）	役員員軟式野球大会（予選）
11月13日（日）	役員員軟式野球大会（決勝）
12月1日（木）	関西地連 運営委員会
12月5日（月）	兵協連第3回理事会
12月8日（木）	日本生協連 全国県連責任者会議
2012年	
1月7日（土）	新春トップセミナー・賀詞交換会
1月16日（月）	17日（火） 日本生協連 全国政策討論集会
未定	初級経理学校
2月2日（木）	関西地連 運営委員会
2月6日（月）	兵協連第4回理事会
2月16日（木）	17日（金） 税務経理講習会

兵庫県生協連主催

「大規模災害対策図上演習」開催報告



2月16日(水) 14時～16時半、兵庫県民会館において兵庫県生協連として3回目となる「大規模災害対策図上演習」を開催しました。今回の「コープぼうさい塾・わがまち減災シミュレーション」は、居住地を共通とする住民（組合員）を対象とした模擬演習で、日生協が社会貢献活動の一つとして呼びかけている「組合員の減災活動の取り組み」の一環として、ワークショップ形式ですすめるセミナーです。災害の発生を防ぐことは出来ませんが、災害被害を

軽減することは可能です。まずは、身を守り、生き残るためにどうすればよいか、この演習を通じて、各生協・団体の職員・組合員が独自で（地域の住民と一緒に）地域の減災をすすめていただくことを目的にしています。演習当日は、10生協と会員団体、兵庫県から41名の参加がありました。

まず、最初に兵庫県企画県民部防災企画局防災計画課防災計画係主任・増井政道氏より「兵庫県の防災体制」と題して、阪神・淡路大震災を教訓として兵庫県がすすめる取り組みについて、さらに、今後、高い確率で発生が予想されている「東南海・南海地震」の被害想定や対策について等のお話をいただきました。

続いて、日本生協連・組織推進本部防災担当・亀山 薫氏、山岡 満氏を講師に演習が行われ、最初に、地震を題材にしたクイズや阪神・淡路大震災当時のDVDを上映などでウォーミングアップをした後、減災マップシミュレーションが始まりました。会場では、8つのグループに分かれた参加者が、それぞれ地方自治体発行の防災マップを参考にしながら、実際の街の地図に防災に関わる諸施設（避難所、病院、河川など）をマーカーで書き込み、さらに自分の家、友人の家、寝たきりの人住む家、妊婦さんがいる家を仮定して印を付けます。その後、兵庫県神戸市を震源とした震度6弱～7の地震が発生したというシミュレーションのもと、ラジオから流れてくる（と仮定してアナウンスされる）地震による火災や道路の通行止めなどの被害状況も地図上に書き加えながら、自宅からゴールとなる避難所に向う避難ルートを書き入れていきます。



日本生協連 亀山氏



日本生協連 山岡氏

演習では、実際の地図に書き込むことで「病院がないエリアがある」など街の様子を再確認したり、自分の避難に集中してしまい近所に住む弱者への気遣いが至らなかったりと、いろいろな気づきがありました。また、シミュレーション終了後には、「まず震災を生き延びるため」に各自でできる取り組みとして、住宅の耐震化や家具の固定の有益性について実験映像を見て学びました。

参加者からは、「16年前の震災当時を思い出した。まず自分の命を守ることを最優先に考えたい」「地域の情報が普段からわかっていないと、いざと言うとき、自分さえも守れないのではないかと感じた」「震災経験をしたにもかかわらず、防災のこころ構えはなかなかだと再確認しました」等の感想が寄せられ、実りある演習となりました。



兵庫県企画県民部
防災企画局
増井氏

2010年度「兵庫県生協連・第6回初級経理学校」を開催

この初級経理学校は会員生協の経理担当者の人材育成をめざして生協の経理実務を基礎から学ぶことを目的にした内容で、今年度で6回目の開催となります。今回もMMコンサルティング三宅充氏を講師に迎え、1月19日(水)～21日(金)と1月25日(火)～26日(水)の延べ5日間の講義に9会員生協17名が受講しました。

現在の経理実務は、パソコン等の導入により、計算が正確で迅速に処理されるようになった反面、決算の仕組みはわかりにくくなっています。今回の5日間にわたる経理学校では、日本生協連発行の「入門 生協の経理実務～伝票式会計～」をテキストとして、生協簿記の基礎知識から始まり、取引・仕訳を理解して試算表と精算表を作成し、最終的には決算書類である貸借対照表・損益計算書の作成が出来るようになる事が目標です。講義は、練習問題や実際に仕訳伝票を使用しながらの演習問題などを繰り返し、時間をかけて丁寧に進められました。講義中は、問題に集中して取り組む受講者の姿や講義を熱心に聞き入る姿が見られ、受講生が互いに教え合う場面もありました。そして、最終日の



講義終了後には、兵協連・大西専務理事から「第6回経理学校終了証」が受講者一人一人に手渡され、全員が無事終了証書を受け取りました。

今回、参加した受講者からは、「集中して学習できた」「体系立てて学べた」「自己のペースで相談できる時間もあり、理解できているかを確認しながら受講できた」などの感想が寄せられ、実りある学びの場となりました。



修了書を手に記念撮影

2010年度「兵庫県生協連・第9回税務経理講習会」を開催

今年で9回目となる「税務経理講習会」を、2月3日(木)・4日(金)の2日間にわたり、県民会館にて開催し、7会員生協(2関連会社)の職員19名が参加しました。この講習会では、日本生協連会員支援本部・遠藤修二氏、江藤俊哉氏をはじめ、MMコンサルティング三宅充氏、そしてコープこうべ経理部・山下信孝氏、西宮市職員生協・宮田正樹氏を講師に、全体オリエンテーションと「初級」「中上級・関連会社」の2クラスに分かれて講習を行いました。



全体オリエンテーション



中上級・関連会社クラス



初級クラス

まず、全体オリエンテーションでは、三宅氏より「税務調査の対応と心構え」と題して、過去の事例も交えながら注意すべき事項を中心にお話をいただきました。続いて、江藤氏より「税制改正と改正生協法にともなう税務経理の諸問題について」と題して、平成22年度税制改正に伴う変更点について「グループ税制」を中心に、また2010年4月改正省令からは「資産除去債務」「金融商品に関する時価注記」等について、わかりやすく解説いただきました。

その後1日目の午後、そして2日目は、クラス別に分かれ講習を行いました。初級クラスでは、「税務・会計・財務管理の基本」を中心に、法人税についての概要、そして、会計上の収益・費用と税務上の益金・損金のちがいなど、税務のベースとなる基本項目を事例に基づき身近な事例をあげて税務の基礎を徹底的に学習しました。また、中上級・関連会社クラスでは、初日から設例に基づき税務申告書を作成。少人数を活かしてマン・ツー・マンで指導をしながら演習を行いました。

参加者からは、「説明が理解しやすい」「税務のポイントや流れがつかめた」「申告書の再確認ができた」などの感想も寄せられ、実践に役立つ実り多い講習会となりました。

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC） 「協同組合研究・交流会」開催報告

2月21日(月) 三木市志染町にあるコープこうべ協同学苑で3回目となる「兵庫JCC組合研究・交流会」を開催しました。この研究・交流会は、より多くの生産者と消費者が直接意見交換することでお互いの立場を理解し合い生産活動および消費行動に生かすことを目的にしています。
晴天に恵まれた当日は、JA・JF・森林組合・生協の役職員と組合員のべ161人がつどいました。



冒頭、主催者を代表して、JA兵庫中央会 三木久和専務理事（兵庫JCC幹事）の開会の挨拶があり、続いて「豊かな暮らしを支えるものゝ生産・流通・消費の相互理解」をテーマに日本食文

化環境研究所代表・神木千鶴氏を講師にご講演をいただきました。講演では、神木氏が主催される芦屋のキッチンスタジオでの料理教室や食育デザイナーとしての日頃の活動の中から感じられた「豊かな食卓」を支えるための3つの観点、「安心と安全を確保する」「共に食べる、継承する」「みんなが得する食環境を作る」についてお話をいただきました。

「私が活動していく中で、最近、気になることは、スタイルを気にして『すぐくやせている』症状の方が増えてきていることです。そして、すぐくやせている女性が、妊娠した時に臨月になっても赤ちゃんが大きく育たないなどの影響も出ているようです。私たちの『心』と『体』は、『食べたもの』からできていることを再認識していただき、改めて、栄養の質とバランス、正し

い生活習慣が大切なことをお伝えしたいです。そして、日本食の米（ごはん）を主食として口中調味（おかずとごはんを口の中で混ぜ合わせ、新しい味を作り出して食べる）する食べ方は、栄養バランス的にも優れた食文化です。ぜひ日本食を見直していただき、若い世代の方にも日本の食文化と食の知識を伝えていただきたいと思っています。

現在、世界の食糧の分配状況は、少ない人口の先進国が多くの食糧を消費している状態です、そして、その消費量には廃棄されているものや家畜の餌、燃料なども含まれています。このような状況の中で、いま私たちにできることは、食糧を大切にすることです。旬の食材を五味、五色、五法の工夫で無駄なく使いきり、豊かな食卓への工夫をしましょう。また、消費者が、健康になるための『安心・安全』の知識、自然と共生していく知識を得て、生産者や流通に需要があることを伝え、消費・流通・生産、それぞれが得をする食環境を作ってほしいと思っています。」と述べられました。



日本食文化環境研究所代表・神木千鶴氏

その後、昼食を兼ねた交流会を協同学苑内のレストランで行いました。今回の交流会のため特別に兵庫県産の食材で作ら

れた「地産地消弁当」と汁物を囲みながら、日頃、交流機会の少ない生産者と消費者が各テーブルに別れて懇談をしながら、テーマに沿った意見の交換等で楽しい交流のひと時を過ごしました。

参加者からは、「食の大切さをしみじみ感じました。『マゴワヤサイ』実践します。」「いろんな所の人と交流ができ、話が聞けて良かった。」「違う立場の方のご意見も聞けたし、生産者の立場をきっちりしゃべることができた、理解しあうことの大切さを学んだ。」など感想をいただきました。



お昼からの懇談・交流会



神木氏のレシピによる、彩り豊かな兵庫の食材で作られた「地産地消のお弁当」と汁物

生活協同組合コープこうべ

西宮市で「夕食サポートまいくる」

先行スタート

1月31日(月)、西宮市内(一部除く)の宅配利用組合員様を対象に「夕食サポートまいくる」がスタートしました。

「夕食サポートまいくる」は、高齢者や単身の世帯にバランスの良い食事をお届けし、夕食をサポートするコープこうべの新事業です。



ご注文は、週単位(月曜～金曜)で、おかず盛り(おかずのみ6品)と、ごはん付き(おかず5品)の2種類から選んでいただき、「安全・安心」「おいしさ」「健康」をコンセプトに、和食を中心とした調理済みのお弁当を冷蔵状態でお届けします。



4月から本格展開

を目指し、順次エリアを広げていく先行運用として、西宮市の宅配利用組合様を中心に取り組みをスタートして約2週間、利用者は170人(210食)になりました。4月までに1日300食を見込んでおり、利用者の方から献立のご意見を伺いながら、より良い商品となるように取り組みをすすめています。

また、コープこうべならではの取り組みとして、地域のボランティア振興に役立てるため、1食につき0.5円を、コープともしびボランティア振興財団に寄付させていただきます。

(通信員 榎原晶子)

生活クラブ生活協同組合都市生活

くらしの見直し講演会(生命保険)を

開催しました

2月18日(金)、西宮市市民交流センターに於いて4回シリーズの最後となる「くらしの見直し講演会」を開催しました。最終回のテーマは「生命保険」です。講師の三原佳代子さんは当生協の理事であり、2004年に2級ファイナンシャルプランニング技能士/AFPを取得した後、コープ共済連認定のライフプランアドバイザー(LPA)として活躍しています。文字通り「トリをとる」役目となった三原さんは、さすがに最初は緊張した面持ちでしたが、そのうちにいつもの調子を取り戻し、その定評のある主婦目線・組合員目線のわかりやすい語り口に参加者は熱心に聞き入っていました。(ちなみにも、3回目までの講師はコープ共済連からの紹介によるファイナンシャル・プランナーにお願いしました。)

今年度の「くらしの見直し講演会」はシリーズ全体で200名を超える幅広い年齢層の参加があり、組合員の関心の高さが

うかがえました。1月18日(火)の「公的年金とリタイアメントプラン」を皮切りに、28日(金)「くらしの資金づくり・金融商品・資産運用」、2月7日(月)「医療保険」、そして今回の「生命保険」と、どれもが組合員から開催を希望する声の多かった演題です。三原さんの講演後にのみ特別に設けた個人相談の希望も10名を超え、反響の大きさを物語っています。今後も、組合員が暮らしのお金全体について幅広く学ぶ場づくりの一環として、「くらしの見直し講演会」やLPA活動への期待はますます高まっていくものと思われま

(組織部 小松高志)



神戸医療生活協同組合

神戸医療生協創立50周年レセプション

華やかに開催

1月30日(日)、シーサイドホテル舞子ビラ神戸において、太鼓衆団「輪田鼓」の勇壮な太鼓のオープニングで神戸医療生協創立50周年記念レセプションを開催しました。

神戸医療生協と共に歩んだ、組合員、職員、元職員、お祝いに駆けつけて下さった御来賓382名が一堂に会しました。

来賓の全日本民医連・藤末会長、医療福祉生協連・福島常任理事からのご祝辞、兵庫民医連・合田会長か

らのご祝辞と合わせ乾杯のご発声をお願いしました。

創立当時から医療生協を支えていただいている組合員さん、元職員も多く参加し、当時の思い出話に「同窓会みたいで楽しかった」などの感想が多く寄せられました。職員からも「医療生協の値打ちを改めて実感した」「医療生協の歴史をまとめたDVDは職員教育、医学生・看護学生への働きかけにも使える」などの声も出ています。神戸医療生協の軌跡をふり振り返りながら、未来に大切につなげていく私たちの理念である「三つの輪」(健康の輪・助け合いの輪・世直しの輪)を参加者が実感できました。

アンサンブルグループ「花音」のコンサートも楽しみ、終始なごやかに心あたたまるレセプションでした。

(通信員 堀本真由美)



尼崎医療生活協同組合

「潮江わくわくフェスタ」を

開催しました

な趣味や楽しみを介して組合員が集い展開しています。午前中は10箇所分野で自分の好きな、または興味のある体験交流を行いました。

「こんなんまたしたいわあ」「こんなサークルないのかなあ」など好評でした。

午後は新年会で3階フロアに集い楽しい演目と大抽選会で盛り上がりました。

(通信員 杉山貴士)



1月30日(日)、潮江4支部が合同で「潮江わくわくフェスタ」を小田地区会館で開催し、約150名の参加で楽しい1日を過ごしました。

潮江4支部は「健康福祉まつり」を毎年開催してきましたが、5年後に控えた潮江診療所の開設50周年に向けて、新たに組合員の活動に参加する人を多く迎える目標をたてました。医療生協の組合員の活動は、様々



JF 兵庫県漁業協同組合連合会

里と海の協働「豊かな海の再生プロジェクト」の実施 ～明石市漁業組合連合会の取組み～



放水直後の赤根川

明石市では「かいぼり」（池干し）で、ため池施設の保全を図るとともに、ため池に蓄積された栄養分を海に放出し、ノリの色落ち対策などに役立てる「豊かな海の再生プロジェクト」が行われています。

この「かいぼり」の取組みは、明石市漁業組合連合会、県、明石市ため池協議会連絡会、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会が主体となり「ため池クリーンキャンペーン」と併せて実施されています。

今回は初めての試みとして、明石市漁業組合連合会ほか関係者が、市内数か所のため池を11月以降数回にわたり「かいぼり」し、放出した水を、池からつながる赤根川の水門に一時的に貯めておき、1月11日(火)に放水しました。放水当日は、明石市ため池協議会連絡会 尾仲会長から「農業における“かいぼり”が、漁業との連携を持ち、放水によって海の環境を守っていくお役に立つことが出来れば幸いです。」と挨拶があり、その後、放水流域に人が立ち入っていないかの安全確認を行い放水しました。

放水直後、水門付近の水量は多く、勢い良く流れて1時間後には河口に到達しました。今後、この水門から数回に分けて放水が行われる予定で、また別の河川でも「かいぼり」した水の放水を行う予定があるなど、「豊かな海の再生プロジェクト」の実現に向けた農業者と漁業者が連携した活動は今後も続いていきます。



放水された水が河口まで到達

JA 兵庫県農業協同組合中央会

県内で初の 金融移動店舗車が運行開始

1月17日、JA丹波ささやまでは、兵庫県内で初めて金融移動店舗車「ふれあい号」の運行営業を開始しました。

今回、新たに動く有人店舗「金融移動店舗車」を導入し、支店から距離がある旧支店跡地6カ所を拠点に店舗機能の補完として循環運行します。

土日、祝日を除いて毎日、3～4カ所を拠点に、1拠点につき週3回、巡回して営業を行います。業務体制は、金融支店とほとんど変わらない対応で、貯金の入出金をはじめ、振込、公共料金の納付、共済掛金受入れや、経済事業の注文、さらには年金、融資の相談業務も行います。

同月11日には運行開始に向けて、同JA本店前で、安全を祈願する「入魂式」および記念式典を行いました。

同JAの仲井厚史代表理事組合長は、「組合員・利用者には、身近な場所で安全な金融サービスを提供できる、『動く窓口』として機能を発揮していきたい」と話しました。



金融移動店舗車「ふれあい号」を利用する組合員



最近の消費生活相談事例

いつまで経っても落札できない ペニーオークション

質問

ペニーオークションと呼ばれるネットオークションに、パソコンが27円で出品されていたので、オークションサイトのみで使用できるコインを9000円分購入し、入札に参加した。残り時間数十秒と表示されるが、誰かが入札するたびに数十秒ずつ時間が延長され、数時間経っても延々と続いている。落札しようと何度か入札したが、その度コインが必要で、こんなに手数料がかかるとは思わなかった。このようなサイトは問題ないのか。

【回答】

インターネット上で、新品の電化製品やブランド品等が非常に格安で出品される“ペニーオークション”に関する相談が最近増加しています。一般のインターネットオークションであれば、入札には費用がかからず落札者だけが商品代金を支払うところを、ペニーオークションの場合は、商品は格安ですが、落札しなくても入札するたびに手数料を支払わなければなりません。

ペニーオークションの特徴は、以下のとおりです。

- ①オークションに参加する前に入札手数料として、サイトでのみ使用できる通貨（ポイント、コイン等）をまとめて購入する必要がある
- ②購入した通貨は未使用でも返金することができないことがある
- ③入札単位が少額で固定的に設定されており、入札者が自由に価格を決められない
- ④通常のオークションサイトと違い、誰かが入札するたびに数十秒ずつ時間が延長されていくため、入札頻度でオークション時間が左右され、終了時間が予測できない

ペニーオークションは、入札のたびに入札手数料が発生するため、落札者以外は入札手数料分だけ損をする仕組みになっています。落札しても落札価格と入札手数料を合わせると、場合によっては市場価格を上回る可能性もあります。また、入札回数に応じて入札手数料がどの程度膨らんでいっているのかわかりづらいため、入札に没頭すると、気づいたときには想定していなかった入札手数料を支払わなければならないこともあります。

ペニーオークションを利用するときは、仕組みをよく理解した上で、冷静な判断力を失わず、慎重に利用することが必要です。

(兵庫県生活科学総合センター)

MOVE

第1回“賀川デー”のご案内

「ともに生きるために」—公共福祉という試み—
というテーマで100年シンポジウムを開催致します。
多くの方のご参加を、お待ちしております。

日程：2011年3月19日(土)
時間：13:00~16:30
場所：賀川記念館
主催：コア100賀川



■プログラム

1. 賀川賞 第2回賀川賞贈呈 前年度受賞者からの事例報告
2. 第3回 100年シンポジウム『ともに生きるために』—公共福祉という試み—

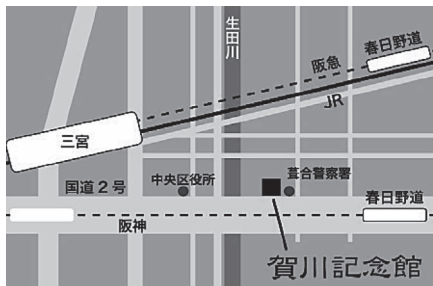
●基調講演：稲垣久和氏 ●パネラー：稲垣久和氏（公共哲学センター）／清原桂子氏（兵庫県）／仲宗根迪子氏（奈良県生協連）／法橋 聡氏（近畿労金）／松岡広路氏（神戸大学） ●コーディネーター：三上喜美男氏（神戸新聞社）

■参加費 500円 *プログラム終了後、交流会（別途1,000円）を行う予定です。
*交流会に参加ご希望の方は合わせてお申込みください。

■定員 100名（先着順） *定員になり次第締切らせていただきます。

■お申込 往復はがき（返信宛先記入をお願いします）、FAX、メールにて次の内容を事務局（賀川記念館）まで、ご送付ください。

1. 参加者お名前（漢字・フリガナ）複数でご参加の場合は全員のお名前をご記入ください
2. 所属（ご職業など）
3. 連絡先（複数でご参加の場合は、代表の方のご住所、tel、fax、メールアドレス）
4. 交流会参加・不参加



国道2号沿・葦合警察署西隣

賀川記念館（コア100賀川事務局）

〒651-0076神戸市中央区吾妻通5-2-20 E-mail: office@core100.net
TEL: 078-221-3627 FAX: 078-221-0810 URL: http://www.core100.net

2010年度「兵協連だより」通信員・広報担当者 研修会

カラー(色)とイメージ(画像)で、効果的な紙面づくりを!

日時 3月23日(水) 15時~17時

場所 兵庫県民会館 地下1階「B101」

内容 カラー(色)とイメージ(画像)で、効果的な紙面づくりを!

講師：(株)遊文舎 本郷 正幸氏（事業部長、グラフィックデザイナー）
（株）遊文舎 佐地 寛氏（企画営業部）

効果的な色の組み合わせやユニバーサルデザインにおける色の効果について。画像の合成・印刷会社（プロ）の画像補正のテクニックなど、見やすく、効果的な紙面づくりのノウハウをご紹介します。
一部内容が変更になる場合があります

参加対象 会員生協「兵協連だより」通信員および広報担当者

質問をおよせ
ください!

ユニバーサル
デザインにおける
色について

簡単にできる
写真の合成
ノウハウ



RGB、CMYK
色の表現法ってなに?

お申込み・お問合せ
兵庫県生活協同組合連合会(担当:北山)
TEL:078-391-8634

編集後記

パソコン作業等に関するVDT健康診断の間診表に記入して提出したら「視力低下の為、視力の矯正をしてください」とのお知らせが届きました。愛用のコンタクトの度数をあわせただけ、すでに2年前。
北山的には、壁にかかった時計と3メートル先に座っている上司の顔色が見えたら、それで良いのですが、やはり、どれだけ遠くが見えているのが健康診断では重要なようです。というわけで、新しい目（コンタクト）になりました！これで、向いの書棚のファイル名も上司の目線までも……良く見えるようになりました！（嬉々）でも……床のほこりに鏡に映る自分の顔は、ぼやけていた方が幸せだった……と、今更ながら気付いた……北山です。（北山）

- 3月8日(火) 関西地連 大規模災害対策協議会 (新大阪 生協会館)
- 3月9日(水) 近畿地区生協府県連協議会(奈良 兵協連 ピースアクション委員会 (県民会館 902))
- 3月14日(月) ひょうご消費者セミナー2010 (県民会館 パルテホール)
- 3月18日(金) 第1回賀川デー (賀川記念館)
- 3月19日(土) 兵協連 医療生協部会
- 3月22日(火) 「兵協連だより」通信員・広報担当者研修会 (県民会館 B101)
- 3月23日(水) 兵協連 生協活動委員会 (県民会館 ばら)
- 3月24日(木) 兵協連 医療生協部会組織担当者会議 (県民会館 ばら)
- 3月25日(金) 兵協連 保健・医療・福祉研究会 (県民会館 302)
- 3月29日(火)

県連日誌